

めざす子ども像

**「地域の絆を深めよう」** ～平城の地でいのちを育もう～

取組目標

～“食と農”を通して地域の絆を深めよう～

**【今年度の取組紹介】**

地域の人の指導で小学校の6年生と1年生が6月に植えたサツマイモを10月に掘りました。大きなサツマイモが何個も束で掘れるとみんなキラキラした目で嬉しそうでした。泥だらけの手も靴も何にも気にしません。ほかの野菜に比べ比較的栽培しやすい野菜です。秋の味覚といえば、甘い香りのホクホクサツマイモ。収穫祭にはお手伝いをした地域の人、同じように田植え・稲刈りと育てたお米で作ったおにぎりと、サツマイモたっぷりのお味噌汁をいただきました。お味噌もみんなの手作りです。



.....

11月には8回目となる“食と農”ふれあいフェスタが競輪場で開催されました。来賓には中室教育長をはじめとして議員の皆さん、そして多くの地域の皆様においでいただきました。各ブースでは今年も中学生のお手伝いが活躍しました。大好きな人形劇から人間が浮いたように見える不思議な手品も、そしてもちろん練習した歌やダンス、勉強した成果発表まで盛りだくさんです。地域の野菜を使ったカレーもいただきました。3000人が集うフェスタ、地域の絆を深めるのが目的です。今年も盛況のうちに終わりました。

**【今年度のまとめ】**

- ・行事や栽培活動で地域の方の協力を得て、子どもたちはたくさんの貴重な体験をしました。
- ・地域の方々とふれあうことで子供たちは豊かな心情が育まれたのではないかと思います。
- ・学校園・家庭・地域一丸となって活動できるフェスタは、皆さんのお陰で順調に進んでいますが、なお一層、会員相互の連帯感を深め次年度に即した活動を進めていきたいです。

**【来年度に向けて】**

- ・地域の絆を深めるフェスタは続けます。
- ・今まで同様学校園の要望に即した活動をします。

めざす子ども像

**地域の絆を深めよう** ～平城の地でいのちを育もう～

取組目標

今まで取り組んできた食と農に加え、防災、労働、環境、生と性等、人が人として生きていく上で必要なテーマについての学習を深め、豊かな心を育むとともに地域の一員として地域に貢献できる人材の育成に努める。

## 【今年度の取組紹介】

## ① こども園への出前部活

6月29日、サッカー部員がこども園へ赴き、園児たちと過ごしました。日頃の練習で培った技術を披露し、園児たちから拍手をいただきました。校区の格好いいお兄ちゃんとして迎えられた部員たちは誇らしげな表情を浮かべ、サッカーを通じてふれ合う時間はとても素敵な時間となりました。



## ② 職場体験ポスターセッション

7月10日、2年生が6月に取り組んだ職場体験の取組を、ポスターセッションの形で発表しました。3日間の職場体験を行う前に各自で探求テーマを設定し、体験を通じて学んだことを発表しました。観客の鋭い質問にも誠実に応対する姿に、生徒たちの確実な成長の様子を感じることができました。



## ③ 平城“食と農”ふれあいフェスタ2018

11月14日、奈良競輪場を会場として今年もフェスタが開催されました。ホールでは平城こども園、平城小学校、西大寺北小学校、平城中学校の2年生や吹奏楽部が歌や演奏などの学習発表を行い、中学1・2年生は、カレーの炊出し、焼きそばなどの模擬店、ストラックアウトなどの園児や小学生が遊べるこどもコーナーのスタッフとして活躍しました。そのなかで多くの地域の方々との交流を深めました。



## 【今年度のまとめ】

- 「平城“食と農”ふれあいフェスタ2018」は参加者が約3,000人を超え、生徒たちは地域の方やこども園児、小学生との交流を深めることができました。また、地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着とつながりを持たせることができました。
- こども園や小学校への「出前部活」や「小6部活体験」などを通して、地域のこども園、小学校と交流を深めることができました。
- コーディネーターを中心に地域内の各種団体が連携できました。



## 【来年度に向けて】

- 来年度は「平城“食と農”ふれあいフェスタ」の取組を、生徒たちの視点をさらに取り入れて、継続していきたいと考えています。
- 放課後学習などコーディネーターの協力を得て、学習支援の取組を行います。
- 図書ボランティア活動を継続的な取組にしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪を広げていきたいと思ひます。

めざす子ども像 **「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標 **地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組で協力し、学んでいく。**

【今年度の取組紹介】

◆米作り体験

5年生が、地域の方から学校の南に隣接した田圃をお借りして田植え・稲刈り体験を行いました。今年で9年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多く応援に駆け付けてくださいました。また、体育館で収穫祭を行い、地域の方々を招いて、おにぎりを一緒に味わいました。



◆平城“食と農”ふれあいフェスタ2018

今年で8回目を迎える「ふれあいフェスタ」を11月14日、奈良競輪場において地域の方々約3000名の参加者を得て、盛大に行うことができました。中学校や地域のバザー、炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間となりました。



地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。子どもたちも、園・小・中の交流を深めることができました。

【今年度のまとめ】

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会も増え、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習の支援、低学年の生活科への支援、環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

朝の会や昼休みに、読書ボランティアの方がクラスや多目的室で、読み聞かせを行ってくださったことで、児童の読書への関心も高まり、国語科のアンケートにも「読書が好きだ。」と答える児童が9割に達しています。

【来年度に向けて】

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。ふれあいフェスタやクリーン活動などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流を深めていきたいです。



めざす子ども像

**「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標

**食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう****～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～****【今年度の取組紹介】**

栽培活動では、地域の方の指導もと、5歳児とその保護者（有志）で6月に田植えを体験しました。初めて田んぼの中に入った園児は「冷たい!」「ニュルニュルする」等泥の感触を楽しみ、「3本ずつ植えるんだって」と教えてもらったことをしっかりと守って丁寧に稲を植えていました。秋には、地域の方と一緒に収穫もさせていただきました。精米してくださったお米を3歳児や4歳児に見せながら「地域の方の田んぼでとれたお米だよ」「今度の給食のカレーライスにしようよ」と嬉しそうに話をしている5歳児の姿が見られました。栽培活動で収穫した物は、今年度から始まった給食で調理してもらっています。地域の方と一緒に収穫したお米の味は格別だったようで「おいしい!」「ありがとう!」と地域の方に感謝しながら味わっていました。



平城“食と農”ふれあいフェスタ2018では、全園児で作った食と農に関するパネルをお家の方や地域の方に見ていただき「かわいいね。」「楽しいパネルだね。」「いろいろな体験をしたんだね。」と感動の声をもらい、とても嬉しそうな子どもたちでした。たくさんのお客さんを前にしての発表でも、ドキドキしながらも地域の方やお家の方の温かいまなざしの中、学年ごとに歌ったり、踊ったりとしたことは園児のとても良い経験となりました。昼食には、地域の方の愛情のつまったカレーもいただきました。フェスタでは、開会式に参加したり、お家の人と一緒に各コーナーをまわったりしながら小学生や中学生、地域の方々と関わる中で、平城の地域の良さを感じ、地域の絆が深まりました。

**【今年度のまとめ】**

- ・こども園に移行後も、変わらず地域の方々の協力をいただき、いろいろな世代の人と交流を通して、園児の豊かな心と健康な体を育むきっかけや素地となっています。
- ・この事業を通して、地域の方々やボランティアの方、ゲストティチャーと、様々な体験をしたことで、子どもたちは親しみの気持ちや感謝の気持ちをもつことができました。保護者も子どもたちから話を聞いたり、事業に参加したりする中で地域のことを知り、交流の場にもなっていました。

**【来年度に向けて】**

こども園になり、両親ともに就労されている家庭が増えてきているので、事業の持ち方を工夫しながら、園と地域、家庭がつながりを持ち続けられるようにしていきたいと思えます。